



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2011年7月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

経営改善計画の 取組みについて



市民病院事務局長 塩原 喜和

市民病院は、地域の中核病院として地域の皆様の期待に応え、必要な医療を安定的に持続的に提供するためには、経営基盤の強化が求められております。

しかし、医療費抑制の流れの中で、平成18年度の医療制度改革から医業収益が落ち込み、さらに、医師をはじめとする医療スタッフの確保が困難となり、病院経営は非常に厳しい状況が続いていました。

平成19年12月に総務省では「公立病院改革ガイドライン」が示され、公立病院に対し 経営の効率化 再編・ネットワーク化 経営形態の見直し の視点に立った「改革プラン」の策定を求め、当院では、このプランを策定するため、平成20年7月に「富山市民病院経営改善委員会」を設け、医療関係者、市民の代表、経済界の代表や公認会計士などからなる9人の委員に検討いただきました。

平成21年3月に答申があり、「富山市民病院経営改善計画」を策定して各種取組みを実施してまいりました。平成21年度は、医業収益は改善いたしましたが、費用も計画を上回ったため、収支では見込みより多い赤字となりました。

平成22年度は、医業収益で8.3%、医業外収益で11.1%など、病院事業収益で21年度と比較して8.6%の増、一方、病院事業費用では、0.1%増となりました。計画では、若干の赤字を見込んでおりましたが、1年前倒して6年ぶりの黒字決算となりました。

平成23年度からは、地方公営企業法の全部適用に経営形態が移行し、経営に関し幅広い権限を持つ「病院事業管理者」が新たに設置されました。全部適用移行によって、診療報酬制度上の医療スタッフの配置基準を満たす人員配置や職員の確保をはじめ、医療機器の更新など、医療環境の変化に「機動的」かつ「柔軟」に対応することが可能となり、健全な病院経営を図りながら充実した医療サービスを提供し、地域医療の充実に貢献できるものと考えております。

今秋には、当院駐車場で建設中の「富山市・医師会急患センター」が稼働いたします。センターでは、血液検査やX線撮影検査、CT検査などの業務について、当院の検査機器を活用することになります。これまで以上に充実した診療体制になると期待されており、検査業務を支援するため、医療スタッフの適正な配置に努めてまいりたいと考えております。

また、今年度は、経営改善計画の最終年度になります。依然として厳しい経営環境ではありますが、高齢化や在宅医療の推進など、医療の変化に柔軟に対応し、市民の健康を守る地域の中核病院として、今後も地域医療機関の皆様から信頼され、多様なニーズに応えられる病院となるよう、事業管理者と職員が一体となって医療サービスの向上に努めたいと考えております。地域医療機関の皆様のご指導・ご支援をお願いいたします。

Contents

経営改善計画の取組みについて	1
研修・講演・勉強会のご案内	2.3
7月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	3
診療所・病院・施設訪問	4
接遇力向上研修会報告	5
~17時以降にもCT検査を承ります~	6
万能型看護実習モデル「さくらちゃん」がやってきた!	6
出前研修や出前講座のご案内	7
異動のお知らせ	7
医師不在のお知らせ	7
病棟、手術室、HCU・ICUの紹介	8
編集後記	8

1 . 地域連携・開放型病床症例検討会



8月

日時：8月9日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「放射線被ばくについて ~ 福島原発事故の話題を含め」

放射線科 中川 美琴

2011年3月11日に東日本を襲った大震災は地震、津波に加え、福島第一原子力発電所に致命的なダメージを与え、いまだに予断を許さない状況が続いています。

今回の出来事を機会に連日、マスコミ等で“放射線被ばく”という言葉が取り上げられています。

目に見えず、匂いもせず、手で触れる事もできない放射線・・・。

放射線は身近に存在しており、日々降り注ぐ宇宙線、大地や地中また人体からも微量の放射線が出ており、平均すると私たちは平均2.4ミリシーベルト

の線量の放射線を自然に被ばくしています。

医療の分野においても、医療診断や癌治療など、放射線は今や欠かすことの出来ないものとなっています。

今回、放射線とはいったい何ものか、放射線と放射能の違い、放射線にはどんな種類があるのか、内部被ばくと外部被ばくの違い、どのくらいの放射線をあびると体に影響があるのかなど、放射線が人体に与える影響について重要と思われるポイントを取り上げ、提示させていただきます。

症例検討

1)「肝機能障害を繰り返した症例」

消化器内科 樋上 義伸

2)「盲腸癌による成人腸重積の一症例」

紹介医：藤田内科医院 藤田 聡先生 外科 寺井 志郎

9月

日時：9月13日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「NHCAP(医療・介護関連肺炎)とその治療戦略」

呼吸器内科 石浦 嘉久

2 . 内科CPC



日時：8月9日(火) 17:30~

場所：医局カンファレンス室

3 . とやまレントゲン読影会



8月はお休みさせていただきます。

4 . 乳腺エコー学習会

(術後症例検討)



日時：8月23日(火) 16:00~

場所：病理検査室

対象：医師、臨床検査技師、放射線技師、他

* 前月手術された症例をエコー中心に検討します。

* 日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。

6 . NST学習会



日時：8月22日(月) 18:00~19:00

場所：講堂

テーマ 「静脈栄養剤の種類と特徴」

講師 薬剤師 黒田 季花



7 . 平成23年度

第1回プレストケア乳がん勉強会

日時：8月25日(木) 18:00~19:00

場所：集団指導室

テーマ 「親の病氣(がん)を、子供にどう伝えるか。」

医療の現場で私達にできること

講師 富山県立中央病院

乳がん看護認定看護師 酒井 裕美先生

5 . 糖尿病研究会定例学習会

日時：8月4日(木) 17:30~

場所：集団指導室

テーマ 「薬物療法について」

講師 薬剤師 朱亀 進司



8 . 褥瘡対策学習会



日時：8月26日(金) 17：45～

場所：集団指導室

テーマ 「主観的・客観的情報による
アセスメントと栄養管理」
「薬剤としての栄養管理」

講師 管理栄養士 中嶋 和代
薬剤師 黒田 季花

日頃ケアしている患者さんの褥瘡について検討を希望される方は、褥瘡部の写真を3日前までにふれあい地域医療センターまでお送り下さるか、当日ご持参ください。



病院ボランティア 篠崎 佳子

9 . 看護研修



《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：8月3日(水) 17：40～18：50

場所：講堂

テーマ 最新のケア技術 (酸素療法)

日時：8月17日(水) 17：40～18：50

場所：講堂

テーマ 最新のケア技術 (気道ケア)

《衛星研修S-QUE 新医療看護連携》

日時：8月24日(水) 17：40～19：00

場所：講堂

テーマ チーム医療・地域連携
「CKD(慢性腎臓病)地域連携と
チーム医療」

研修の標に対象となる職種マークをつけました。
お気軽にお越し下さい。



《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 76 みかわクリニック

今回は「みかわクリニック」を訪問させていただきました。

名 称	医療法人社団 照風会 みかわクリニック
住 所	富山県富山市経堂2丁目55番地
医 師	院長 三川 正人 ・医師 松岡 訓
標 榜 科	内科・循環器内科・腎臓内科・消化器内科・人工透析・アレルギー科
診察日・時間	月～土曜日 8:30～12:45 月～金曜日 14:00～17:30 土曜日 14:00～16:30 日曜・祝日 休診
透析日・時間	午前 月～土曜日 8:30～ 午後 月・水・金曜日 13:00～
施設区分	有床診療所

訪問記



みかわクリニック前景



三川正人院長先生



三川院長とスタッフの皆さん

例年よりも少し早い梅雨明け後、猛暑日が続く7月中旬の午後、富山市経堂で開業されている「医療法人社団 照風会 みかわクリニック」を訪問させていただきました。

みかわクリニックは平成19年9月開院、内科・循環器内科・腎臓内科・消化器内科・人工透析・アレルギー科を標榜されています。院長の三川 正人先生は腎臓内科をご専門とされ、また院長の甥である松岡 訓医師のご専門は消化器内科とうかがいました。当院とは、開放型病床登録医として医療連携をいただいております。

みかわクリニックでは、午前・午後の2部体制で人工透析を行っており、透析監視装置を15台有し、個人用透析装置1台の平均月間透析回数は実に439回を数えるとのこと。また、松岡 訓先生が担当されている上部内視鏡検査は、月平均33件とのこと。

平成18年9月まで不二越病院院長であった三川先生は、平成19年に開業された時、「急性期病院のサテライト的な存在に徹しよう、透析の維持そして腎臓移植をサポートする側になると心に決めた。」とお話くださいました。また「現在透析で通院中の患者さんが実際に生体腎移植を経験された本人やその家族の方々から、直接話を聞くことは大変説得力がある。またお元気で過ごされている様子を知ることによって患者さんはとても励まされ腎臓移植を積極的に受け入れてもらえている。」と話され、移植に対する先生方の熱意が伝わってきました。

クリニック内を案内していただき、バイクとラジコンヘリコプターがご趣味という院長先生の診察室で目の留まったのが3台のミニチュアのレプリカ、そして院長先生のもットーである「初心忘れるべからず」のご自分で書かれたという書「初心」です。いつも初心を忘れず、患者さんに視覚で訴えることの大切さや患者さんの気持ちに沿った対応を心がけておられる先生の優しさといったわりの心を、クリニック内のいたるところに感じることができました。

午後のお忙しい時間にもかかわらず、院長先生はじめスタッフの方々に笑顔で迎えていただきありがとうございました。



接遇力向上研修会報告

接遇向上委員会 置塩 良政

6月21日(火)と7月25日(月)の午後、接遇力向上のための研修会を行いました。対象は例年通り1年目・2年目の職員としました。2回合わせて院内の各部署から60名、院外の施設から13名、合計73名の方々に参加していただきました。講師は接遇向上委員会委員長の置塩が務めました。



内容は「トラブルを未然に防ぐ接遇力と院内コミュニケーション」で、今年ではできるだけグループ・ディスカッションを多く取り入れました。



最初に、3月11日の東日本大震災の発生時に東京ディズニーリゾートのキャストがとった対応についての映像を見てもらいました。(キャストの1人1人が落ち着いて行動し、適切な誘導を行い、パークで夜を明かした約2万人のゲストに対して親身な対応をしたことに各方面から称賛の声が上がり、TVの番組でも取り上げられ大きな反響を呼びました)

この映像をもとに「なぜキャストは未曾有の事態の中でハピネスを届けることができたのか」についてグループ・ディスカッションを行いました。通常の講義よりもインパクトがあったようで、たくさんの意見を出していただきました。続いてディズニーと医療・介護施設を比較しながら4つのテーマについてグループ・ディスカッションを行いました。

最後にトラブル防止の接遇力として必要な12のポイントについてミニレクチャーを行いました。

終了後のアンケートでは、やはりディズニーでの対応の映像に感動しとても印象に残ったという意見が多く寄せられました。職種は違いますが学ぶべきところはたくさんありますので、機会があればもっとくわしく解説したいと思います。今回の研修会で気づいたこと・学んだことを参加された皆様がそれぞれの部署・施設に戻られてからの業務に少しでも役立てていただければうれしく思います。



～17時以降にもCT検査を承ります～

当院では、時間内のCT検査以外に17時以降に検査を行う「時間外CT検査」を承っております。対象となる患者さんと検査の実施日時は以下のとおりです。

1. 対象

- 1) 造影の必要がない方
- 2) 画像やレポート等、検査結果のお渡しが翌日（週末であれば翌週）以降でも可能な方

2. 実施日時

月～金曜日（土日祝祭日除く）17:20～18:20

時間外CT検査のお支払い額は、撮影部位にかかわらず定額としておりますので、下記の料金表をご参照下さい。検査結果は郵送もしくは当院職員が紹介医療機関までお届けいたします。

勤務等の都合で日中のCT検査が困難な方や、日中の検査の混み具合によっては、時間外CT検査をご利用いただきますようお願いいたします。

時間外CT検査のご予約やお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでお寄せください。

時間外CT撮影診断に伴う料金表 （CT撮影診断料+初診料+診療情報提供料【 】）

CT	成人	
	1割負担	3割負担
	2,170円	6,510円

福祉医療券または、富山市在住の方で一部負担金助成該当者証をお持ちの方は無料になります。



万能型看護実習モデル

“さくらちゃん”がやってきた！

身長158cm、患者さんを想定した基本的な看護技術の習得が可能な万能型看護実習モデル、待望の「さくら」がようやく届きました。等身大のモデルだけあって、重厚感もあり、数々のシミュレータの中でも、かなりの存在感があります。

「さくら」のおかげで、これまでの新人看護師研修では経験が困難だった筋肉注射や気管切開患者のケア、経管栄養などの経験知が高まることはもちろん、洗髪や口腔ケアなどの基本的看護技術の習得にも一役かってくれそうです。更に、看護師が習得しなくてはいけない状況を自由に作り出すことが出来、学びを反復することも可能です。

これからも、リアルに学習できる環境を充実させていきたいと考えていますので、どうぞ皆さん「さくら」に会いにきてください。



出前研修や出前講座のご案内

言語聴覚士 山本 久美子

6月22日に医療法人社団重仁会佐々木病院に出前講座にお伺いしました。

「嚥下リハビリテーションの実際」というテーマのもと、摂食嚥下のメカニズム、嚥下障害の評価、嚥下訓練のプログラムについてお話をさせていただきました。精神科疾患をお持ちの患者さんは薬の影響で嚥下障害を生じやすい状態であることに加え、高齢化も進んでおられるとのことで、皆様の嚥下リハビリテーションについての関心が高く、お忙しい中多くの職員の方に参加していただきました。今回の講義が少しでも臨床にお役に立てば幸いです。

当院でも嚥下障害の方は多く、嚥下リハビリテーションのニーズは高くなっております。食事は栄養を補給するという生きるために欠かすことのできない行為ですが、「口から食べる」ということは私たち人間にとって、「楽しみ」のひとつでもあります。今後もより安全で楽しく食事をしていただくために、地域の皆様と共に嚥下障害に対する知識や技術の向上に努めていきたいと考えております。また、機会があれば皆様と共に勉強させていただきますので、声をかけていただければ幸いです。



加藤医師の後任として7月より着任いたしました。精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

異動のお知らせ

7月より^{ほりかわ}堀川 ^{ひでよ}英世 医師が 麻酔科 加藤 晋医師に代わって着任されましたのでお知らせいたします。

医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

8月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	3日	余川	外科・乳腺外科	1日・8日	泉
	23日・25日	清川		9日・10日・11日・12日・30日	福島
	15日	林		9日・11日・12日・15日・16日	野島
	26日	石浦	呼吸器・血管外科	1日・2日・3日・29日・30日	草島
	2日	大田		19日	瀬川
	5日	蓑内	形成外科	26日	高畠
	5日・22日	寺崎(靖)	泌尿器科	5日・8日	元井
	24日	泉谷	整形外科・関節再建外科	19日・26日・30日	澤口
	3日	清水		30日	坂越
	1日・15日	廣瀬		1日・3日・5日	重本
	30日	高櫻	小児科	23日・26日	中川
麻酔科	22日・23日・24日・25日	永川	皮膚科	10日・11日・12日	野村
	15日・16日	高木	歯科	12日・15日	寺島
眼科	4日・5日・8日	山田	婦人科	11日・16日	三輪
	26日・29日・30日	八田		5日・8日・10日・29日	長谷川
小児科	18日・19日	岡田		4日・5日・22日	金枝
	18日・19日	山崎	脳外科	12日	山野
精神科	15日・17日・19日	長谷川	その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。		
	29日・30日	伊東			
	11日・12日	西田			

病棟、手術室、HCU・ICU の紹介



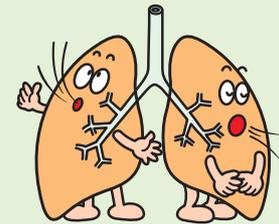
今月は西病棟7階

西病棟7階は、呼吸器科と血液内科の病棟です。スタッフは、呼吸器科の中村裕行部長をはじめとして石浦嘉久医師、山本 宏樹医師、血液内科の寺崎 靖医師と看護師・看護補助者の26名です。

病棟では、呼吸療法認定士の資格を有する看護師と呼吸看護エキスパートナース、がん化学療法看護エキスパートナースが中心に指導を行っています。在宅酸素療法（HOT）を導入されるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者さん・家族への生活指導や喘息の患者さんへのビデオ学習と薬剤師からの吸入指導を行っています。また肺がんや悪性リンパ腫などの患者さんが、“安全で安楽”に化学療法を受けられることができ、外来治療室での治療が継続できるように支援しています。スタッフは、自分自身のスキルアップを図るためにグループ学習を行い、医療の質向上に努めています。

入院期間の短縮や在宅医療の推進により患者さんが家庭で過ごす時間が増えてきています。また、病院と地域が連携してがん患者さんの医療を行う「がん診療連携パス」に肺がんも対象になっていることから、より一層地域との連携が大切になってきました。

今後もスタッフ一同患者さんが安心して治療ができる環境を整えるとともに、よりよい医療の提供を目指していききたいと思います。



編集後記

梅雨明け宣言はされましたが、スコールとして続きそうな富山雨物語。徒歩通勤の私ですが、雨の日のこだわりは傘です。いろいろ使ってみましたが、軽くて、丈夫で、太柄で持ちやすく、骨先は丸くて安全な児童傘が便利です。しかも窓付きで、前方からの雨風でも視野が確保されます。持ち手にレインポップを付けば、滑らずどこにでも置けるのでさらに便利。そんな安全・安心なやさしい配慮ができている児童傘のように、地域連携を心がけてゆきたいと思います。今後ともよろしく願い申し上げます。



リハビリテーション科 平井 瑞穂

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>
がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp